令和４年度

事　業　報　告　書

公益財団法人群馬県長寿社会づくり財団

は　じ　め　に

令和４年群馬県の総人口は１９１万３千人（令和４年１０月１日現在）で前年よりも１万３千人ほど減少し、今後も少子高齢化による人口減少傾向が続くと考えられています。

また、群馬県の年齢別人口（令和４年１０月１日現在）では、令和４年の６５歳以上の人口は５８万人で、人口割合の３１．０％となり、そのうち６５～７４歳は１４．７％、７５歳以上は１６．５％となりました。群馬県の高齢者人口は、一貫して増加を続け、２０４０年頃まで増加すると予想されています。

人生１００年時代を迎えた現在、高齢者自身が自らの経験、知識、意欲を活かし、趣味や余暇活動、学習、ボランティア、就労など多様な「活躍の場」を通し、「支える側」として地域社会とかかわりを持ち続けることが重要です。

令和２年からのコロナ禍では、高齢者の社会参加も大きく制限されてきましたが、社会環境はコロナとの共生に向けた新たな段階に入ってきています。

群馬県長寿社会づくり財団では、「高齢者が活躍できる社会づくり」の拠点として、高齢者の生きがいと健康づくりを掲げ、高齢者の自主的な社会参加、雇用・就業機会の確保など、新型コロナウィルス感染症の動向に留意しつつ、「高齢者の誰もが安心して生き生きと暮らせる地域共生社会づくり」を全力で推進していきたいと考えております。

ここに、令和４年度の実績を取りまとめましたのでご参考にしていただければ幸いと存じます。

終わりに、今後も市町村や各種関係機関・関係団体との連携をさらに密にし、群馬県と一体となって各種事業に取り組んでまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和５年４月

公益財団法人群馬県長寿社会づくり財団
理　事　長　　片　野　　清　明

目　　次

ページ

Ⅰ 公益財団法人　群馬県長寿社会づくり財団の概要 …… 1
1 設置目的及び沿革
(1) 設置目的 …… 1
(2) 沿　　革 …… 1
2 組織機構(令和5年3月31日現在) …… 2
3 役員等及び職員の状況 …… 3
(1) 役員(理事・監事)(令和5年3月31日現在) …… 3
(2) 評議員(令和5年3月31日現在) …… 4
(3) 事務局役職員(令和5年3月31日現在) …… 5

Ⅱ 事業の概要 …… 6
1 明るい長寿社会の実現に向けた『普及啓発』 …… 7
(1) ぐんまときめきフェスティバル開催 …… 7
(2) 長寿社会・私のメッセージコンクール実施 …… 8
(3) 情報誌「ときめき群馬」発行 …… 10
(4) 財団情報提供事業 …… 10

2 市町村等との連携による『人づくり』 …… 10
(1) シニア傾聴ボランティア育成支援事業 …… 10
(2) 元気・活躍シニア社会参加活動支援事業 …… 11
(3) 元気・活躍シニア地域支えあい活動支援事業 …… 14
(4) シニアのための脳と体の健康づくり講座 …… 15

3 地域活動促進のための『組織づくり』 …… 16
(1) 全国健康福祉祭選手派遣事業 …… 16
(2) ぐんまねんりんピック2022開催 …… 16

4 調査研究 …… 17
(1) 生きがいと健康づくり調査研究事業 …… 17

5 多様な雇用・就業機会の確保 …… 18
(1) シルバー人材センター連合会の運営 …… 18
(2) 高齢者活躍人材確保育成事業 …… 32

Ⅲ 理事会・評議員会 …… 34
1 理事会
(1) 第37回理事会 …… 34
(2) 第38回理事会 …… 34
(3) 第39回理事会 …… 34

2 評議員会 …… 35
(1) 第25回評議員会 …… 35
(2) 第26回評議員会 …… 35

Ⅰ　公益財団法人　群馬県長寿社会づくり財団の概要

１　設置目的及び沿革

（１）設置目的

公益財団法人群馬県長寿社会づくり財団は、「高齢者が活躍できる社会づくり」の拠点として、高齢者の生きがいと健康づくりを推進することを目的に、高齢者の社会活動についての啓発、自主的な社会参加、生きがい及び健康づくり、雇用・就業及び能力活用を促進するための事業を、群馬県と県内市町村及び関係機関が一体となって推進していくための中核的組織として設置された団体です。

（２）沿　　革

ア　平成３年４月１日に設立されました。

出捐者　群馬県

　　県内全市町村

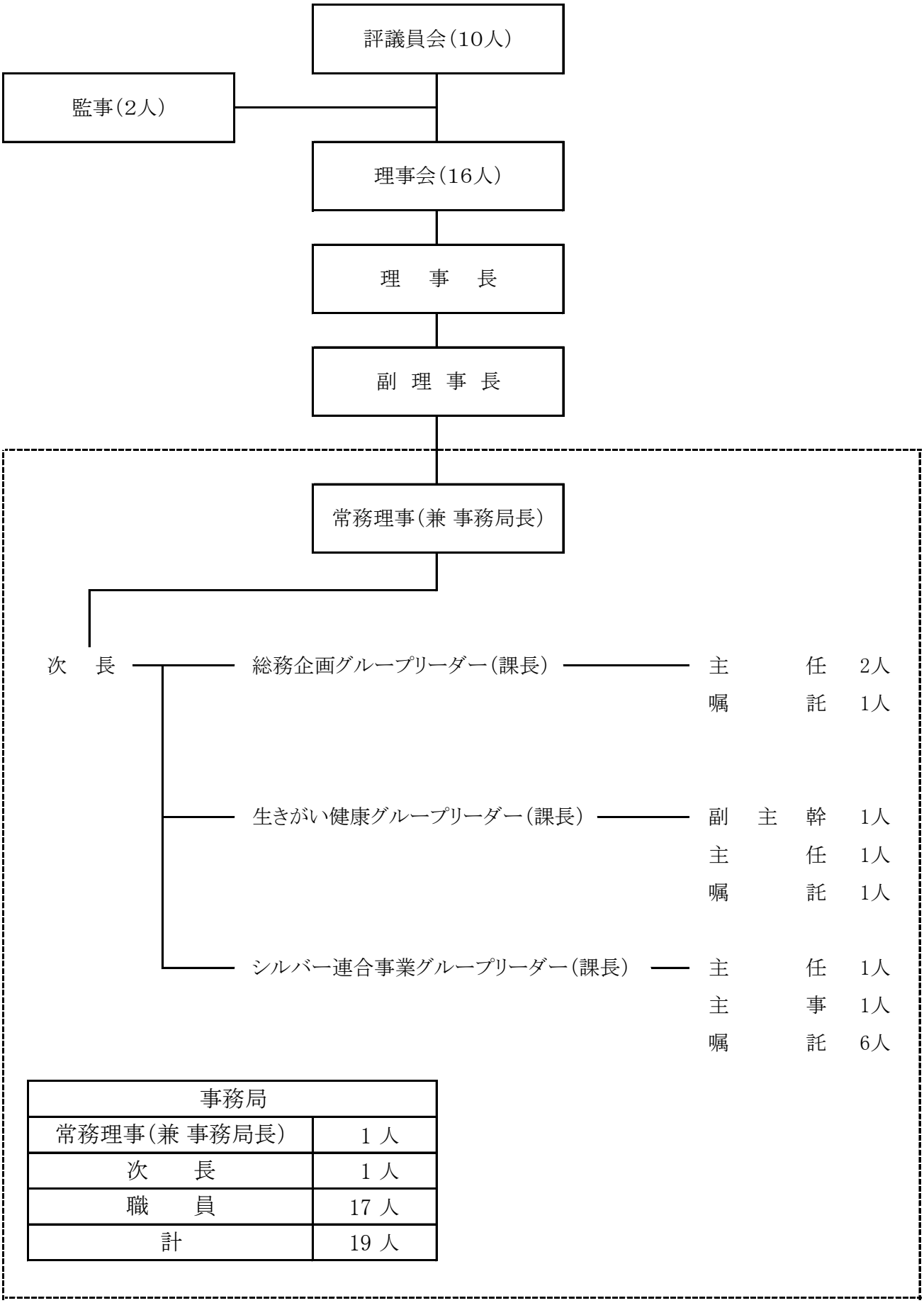
イ　基本財産は、１億５千万円です。

財団の運営は、主に、基本財産運用収入と国、県からの補助金及び委託事業費によって運営されています。

ウ　平成１０年１０月１日に、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」（昭和４６年法律第６８号）に基づき、群馬県知事から「シルバー人材センター連合」の指定を受けました。

エ　平成２４年４月１日に、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」(平成１８年法律第５０号)に基づき、群馬県知事から「公益財団法人」の認定を受けました。

2　組織機構（令和5年3月31日現在）



事務局	
常務理事（兼 事務局長）	1 人
次　　長	1 人
職　　員	17 人
計	19 人

３　役員等及び職員の状況

（１）役員（理事・監事）

（令和５年３月３１日現在）

氏　名	所属及び役職名	役職
大澤　伸一郎	群馬県中小企業団体中央会　専務理事	理事
大竹　惠子	群馬県地域婦人団体連合会　会長	理事
大谷　良成	群馬県民生委員児童委員協議会　会長	理事
大貫　森次	一般財団法人群馬県老人クラブ連合会　理事長	理事
荻原　京子	公益社団法人群馬県看護協会　会長	理事
笠原　寛	公益財団法人群馬県教育文化事業団　理事長	理事
片野　清明	公益財団法人群馬県長寿社会づくり財団　理事長	理事長 （代表理事）
川原　武男	社会福祉法人群馬県社会福祉協議会　会長	副理事長 （代表理事）
坂庭　秀	一般社団法人群馬県商工会議所連合会　専務理事	理事
田村　新衛	群馬県農業協同組合中央会　専務理事	理事
萩原　健次郎	群馬県シルバー人材センター連合会　会長	理事
服部　徳昭	公益社団法人群馬県医師会　理事	理事
樋口　努	群馬県商工会連合会　専務理事	理事
平井　敦子	公益財団法人群馬県長寿社会づくり財団　常務理事	常務理事 （執行理事）
松本　博崇	公益財団法人群馬県スポーツ協会　理事長	理事
吉田　典之	株式会社上毛新聞社　専務取締役	理事
黒澤　卓也	公益社団法人日本青年会議所関東地区群馬ブロック協議会　会長	監事
塩谷　聡	群馬県会計局会計管理課　課長	監事

敬称略、５０音順、理事１６人、監事２人

（２）評議員

（令和５年３月３１日現在）

氏　名	所属及び役職名
梅　村　　透	群馬県町村会　事務局長
木　闇　　裕　治	日本労働組合総連合会群馬県連合会　副会長
佐　藤　　貴　彦	群馬県健康福祉部介護高齢課　課長
佐　藤　　洋　子	公益社団法人群馬県栄養士会　専務理事
設　樂　　修　一	群馬県産業経済部労働政策課　課長
高　松　　透　浩	公益社団法人群馬県歯科医師会　副会長
古　谷　　忠　之	一般社団法人群馬県老人福祉施設協議会　会長
穂　積　　昌　信	群馬県議会健康福祉常任委員会　委員長
松　下　　洋　一	群馬県市長会　事務局課長
松　沼　　記　代	高崎健康福祉大学健康福祉学部社会福祉学科　特任教授

敬称略、５０音順、評議員１０人

（３）事務局役職員

（令和５年３月３１日現在）

常務理事（兼 事務局長）	平　井　　敦　子
次長	岡　本　　尚　子
【総務企画グループ】	
課長（グループリーダー）	善養寺　由理子
主任	茂　　木　　忍
主任	井　上　　清　美
嘱託	阿　部　　郁　美
【生きがい健康グループ】	
課長（グループリーダー）	木　暮　　純　子
副主幹	髙　橋　　麻　里
主任	桑　原　　千　夏
嘱託	中　澤　　亮　賢
【シルバー連合事業グループ】	
課長（グループリーダー）	高　橋　　智　和
主任（連合事業　ｻﾌﾞｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ）	加　　藤　　透
主事（連合事業）	池　口　　萌　樹
嘱託（連合事業）	野　上　　沙　織
嘱託（連合事業）	安　藤　　隆　司
嘱託（連合事業）	日　野　原　　武
嘱託（高齢者活躍人材確保育成事業）	久　米　　聡　美
嘱託（高齢者活躍人材確保育成事業）	高　橋　　ふ み え
嘱託（高齢者活躍人材確保育成事業）	長　谷　川　　明

Ⅱ　事業の概要

当財団では、シニア世代が長年にわたって培ってきた知識・経験・知恵を活かして、地域での社会参加活動を積極的に楽しみながら、自らの生きがいを高め、地域社会の支え手として活躍してもらえるよう、市町村をはじめ関係機関及び関係団体と連携を密にし、県と一体になって次の事業に取り組みました。

- 高齢者が活躍できる社会づくり
  - 公益目的事業１
    - １　明るい長寿社会の実現に向けた『普及啓発』
      - (1) ぐんまときめきフェスティバル開催
      - (2) 長寿社会・私のメッセージコンクール実施
      - (3) 情報誌「ときめき群馬」発行
      - (4) 財団情報提供事業
    - ２　市町村等との連携による『人づくり』
      - (1) シニア傾聴ボランティア育成支援事業
      - (2) 元気・活躍シニア社会参加活動支援事業
      - (3) 元気・活躍シニア地域支えあい活動支援事業
      - (4) シニアのための脳と体の健康づくり講座
    - ３　地域活動促進のための『組織づくり』
      - (1) 全国健康福祉祭選手派遣事業
      - (2) ぐんまねんりんピック２０２２開催
    - ４　調査研究
      - (1) 生きがいと健康づくり調査研究事業
  - 公益目的事業２
    - ５　多様な雇用・就業機会の確保
      - (1) シルバー人材センター連合会の運営
      - (2) 高齢者活躍人材確保育成事業

１　明るい長寿社会の実現に向けた『普及啓発』

（１）ぐんまときめきフェスティバル開催

シニア世代の創作活動の発表の場を提供し、社会参加と生きがいづくりを推進するため、美術展、短歌大会を開催するとともに、高齢社会を共に考える機会とするための講演会を開催いたしました。

ア　開催日　令和５年３月１１日（土）～３月１３日（月）

イ　場　所　（総合開会式、美術展）ベイシア文化ホール（群馬県民会館）
　　（短歌大会）前橋商工会議所会館

ウ　参加者総数　１，６２０人

エ　内容

（ア）開会式

ａ　ときめき美術展及び長寿社会・私のメッセージコンクール受賞者表彰式

ｂ　記念講演　講師　シンガーソングライター　イルカ
　　演題　「人生フルコース～デザートはこれから　６０歳からもっと元気にハッピーに！！」

ｃ　参加者　７００人

（イ）ときめき美術展

ａ　出品作品　　１９１点
　　（日本画２６・洋画６２・彫刻７・工芸３８・書２８・写真３０）

ｂ　来場者数　６７３人

ｃ　金賞入賞者　日本画の部:大井美千子／静かなる日　柳澤芳行／「岩と雪氷」No.3“厳”
　　洋画の部：小林邦雄／朝のひととき　武田裕光／夏の思い出
　　彫刻の部：天田高廣／仲よし　矢野茂次／たびじ
　　工芸の部:井上清／稜春　平形芳樹／網代／重ね透かし編み花籠「温故」
　　書 の 部：田中進／睦州 査慎行詩　水出由美子／太田道灌の詩
　　写真の部：植竹繁／朝靄燃える　奈佐照夫／生きる為

（ウ）ときめき短歌大会（出品状況及び入賞者数）

ａ　出品者数　２９３人

ｂ　作品数　　５７９作品

ｃ　入賞者数　特選賞／２人、正賞／１０人、准賞／３０人

ｄ　内容

・　記念講演：講師　群馬ペンクラブ　常務理事　小川　泰義
　　演題　「短歌における『清濁』とは何か？―會津八一と吉野秀雄―」

・　入選作品の表彰と講評

（２）長寿社会・私のメッセージコンクール実施

明るく生き生きとした長寿社会づくりに向けての気運を盛り上げるため、若い世代からは、シニア世代との関わりなど、具体的体験を通じて学んだことや感じたこと、これからの長寿社会についての建設的な意見を、シニア世代からは、学習・文化・スポーツ活動や地域活動を通じて感じたこと、豊かで明るく生き生きと生活することについて考えたことをまとめたメッセージを募集し、優秀作品を選考し広く公表しました。

ア　応募総数　２，３８９編

小学校低学年の部：２４４編
小学校高学年の部：３４８編
中　学　生　の　部：６５５編
高　校　生　の　部：１６７編
一　般　の　部：８９７編
シ　ニ　ア　の　部：７８編（６０歳以上）

イ　表彰式　令和５年３月１１日（土）

ウ　場　所　ベイシア文化ホール（群馬県民会館）

エ　入賞者

《小学校低学年の部》

最優秀作品　「本当に九十六才!?」　岡田　つぼみ

受賞名	氏名	学校名	学年
最優秀賞	岡田　つぼみ	太田市立駒形小学校	３年
優秀賞	星野　爽	太田市立駒形小学校	３年
優良賞	風間　日心	太田市立毛里田小学校	３年
入選	福田　莉緒	太田市立沢野小学校	３年
入選	松浦　賢吾	吉岡町立駒寄小学校	３年

《小学校高学年の部》

最優秀作品　「ひいおばあちゃんありがとう」　鹿田　紬未

受賞名	氏名	学校名	学年
最優秀賞	鹿田　紬未	前橋市立宮城小学校	５年
優秀賞	宮内　和	太田市立南小学校	５年
優良賞	古澤　粋惟	太田市立旭小学校	４年
入選	山岡　拓真	太田市立駒形小学校	４年
入選	喜多　佐倖	太田市立毛里田小学校	６年

《中学生の部》

最優秀作品　「家族のように」　平松　実沙

受賞名	氏名	学校名	学年
最優秀賞	平松　実沙	神流町立中里中学校	１年
優秀賞	恩田　和弥	学校法人明照学園樹徳中学校	１年
優良賞	奥泉　まる	渋川市立渋川中学校	３年
入選	鈴木　彩楓	前橋市立宮城中学校	３年
入選	塩原　葉尚	前橋市立南橘中学校	１年

《高校生の部》

最優秀作品　「頼られる人になれるように」　狩野　未来

受賞名	氏名	学校名	学年
最優秀賞	狩野　未来	県立伊勢崎興陽高等学校	３年
優秀賞	天田　愛生	県立吾妻中央高等学校	１年
優良賞	加藤　希乃珂	県立伊勢崎興陽高等学校	２年
入選	草間　遥陽	県立安中総合学園高等学校	２年
入選	塩原　あゆ美	県立吾妻中央高等学校	３年

《一般の部》

最優秀作品　「住み慣れた地域で自分らしく生きる」　五十嵐　琴音

受賞名	氏名	学校名	学年
最優秀賞	五十嵐　琴音	学校法人昌賢学園群馬医療福祉大学	４年
優秀賞	入江　美月	学校法人昌賢学園群馬医療福祉大学	３年
優良賞	境野　小羽	学校法人昌賢学園群馬医療福祉大学	２年
入選	小野　友里杏	学校法人昌賢学園群馬医療福祉大学	２年
入選	諸田　進太朗	学校法人昌賢学園群馬医療福祉大学	２年

《シニアの部（６０才以上)》

最優秀作品　「若者風年寄りからのメッセージ」　吉澤　克博

受賞名	氏名	居住市町	年齢
最優秀賞	吉澤　克博	太田市	７４歳
優秀賞	横木　健治	板倉町	７４歳
優秀賞	小須田　美枝子	太田市	６２歳
優良賞	長岡　荘三	渋川市	８８歳
優良賞	鈴木　マサオ	高崎市	７３歳

※学年・年齢は応募作品締め切り日の令和４年９月９日現在です。

（３）情報誌「ときめき群馬」発行

シニア世代の生きがいづくり、健康づくり及び社会参加に関する情報や、個人、団体及び財団の事業内容を紹介した情報誌を作成し、市町村等関係機関などに配布することにより、明るく活力のある長寿社会の実現に向けての意識啓発を図りました。

ア　規　　格　　Ａ４判、フルカラー、夏・冬号１６頁、春号２４頁

イ　発行部数　　１２，５００部×年３回

ウ　配 布 先　　県、市町村、医療機関、老人クラブ、図書館、公民館等

（４）財団情報提供事業

ホームページやＳＮＳを多用しながら、従来のＰＲ用パンフレットと併せ市町村や県民へ当財団事業内容を適宜提供しました。

ア　ＰＲ用パンフレット「事業案内ときめき」の作成　　１０，０００部

イ　ホームページ更新　　当財団の概要及び事業等の情報の更新

ウ　ツイッターやＬＩＮＥを通じて事業等の最新情報を発信

エ　市町村等関係団体との事業連携についてのアンケート

オ　財団 YouTube チャンネルによる情報発信

２　市町村等との連携による『人づくり』

（１）シニア傾聴ボランティア育成支援事業

悩みを持つ人の話し相手となり、自分自身で悩みを克服できるよう手助けを行う傾聴ボランティア活動を支援するため、養成講座及びスキルアップ講座を開催するとともに、情報提供を行いました。

ア　養成講座

開催日	場所	連携先	参加者 （修了者）
6 月 7 日（火） 14 日（火）	バイテック文化ホール	中之条町社会福祉協議会 東吾妻町社会福祉協議会 高山村社会福祉協議会	24 (24)
9 月 8 日（木） 15 日（木）	吉岡町文化センター	吉岡町社会福祉協議会	10 (10)
10 月 21 日（金） 28 日（金）	高崎市総合福祉センター	高崎市社会福祉協議会	29 (29)

（ア）　内　容　傾聴ボランティア活動についての座学と実習

（イ）　講　師　埼玉カウンセリングセンター　代表理事　高倉　恵子

日本傾聴ボランティア協会　事務局長　山田　豊吉

イ　スキルアップ講座

開催日	場所	連携先	参加者 （修了者）
7 月 15 日（金）	渋川ほっとプラザ	渋川市社会福祉協議会	26 (24)
1 月 17 日（火）	高崎市総合福祉センター	高崎市社会福祉協議会	21 (19)

（ア）　内　容　傾聴ボランティア活動についての座学と実習
（イ）　講　師　埼玉カウンセリングセンター　代表理事　高倉　恵子
日本傾聴ボランティア協会　事務局長　山田　豊吉

ウ　情報提供
市町村及び社会福祉協議会と連携し、傾聴ボランティア活動の情報を収集し提供しました。

（２）元気・活躍シニア社会参加活動支援事業
仕事中心の生活から地域中心の生活に移行するシニア層が、退職後も健康で社会とのつながりを維持できるように、シニアが興味・関心を持ち仲間づくりや社会参加に役立つ講座を開催しました。
また、登録シニアグループの情報を更新し、ホームページで情報提供しました。

ア　チェアヨガ講座
ヨガ初心者でも安全かつ効果的に行える椅子に座って行う「チェアヨガ」について学び、フレイル予防に役立てるため、開催しました。

【共通事項】
講　師　　チェアヨガインストラクター　山田　いずみ

【渋川会場】
（ア）開催日　令和４年６月１６日（木）、１７日（金）
（イ）場　所　渋川市赤城公民館
（ウ）連携先　渋川市
（エ）参加者　１８人

【邑楽会場】
（ア）開催日　令和４年１２月１９日（月）、２０日（火）
（イ）場　所　邑楽町役場
（ウ）連携先　邑楽町
（エ）参加者　２６人

イ　ウォーキング講座

ウォーキングの正しい歩き方を学び、ウォーキングを習慣づけることで、健康寿命の延伸に役立てるため開催しました。

【共通事項】

講　師　　健康運動指導士　斉藤　智子

【板倉会場】

（ア）開催日　令和４年１１月１日（火）、８日（火）

（イ）場　所　板倉町Ｂ＆Ｇ海洋センター

（ウ）連携先　板倉町

（エ）参加者　２６人

【藤岡会場】

（ア）開催日　令和５年２月２１日（火）、２８日（火）

（イ）場　所　藤岡市総合学習センター体育館

（ウ）連携先　公益社団法人藤岡市シルバー人材センター

（エ）参加者　３３人

ウ　美味しいコーヒーの淹れ方講座

美味しいコーヒーの淹れ方を学び、地域活動やボランティア活動に活用していただくため開催しました。

【共通事項】

講　師　ＳＣＡＪ認定コーヒーマイスター　安達　太

【東吾妻会場】

（ア）開催日　令和４年９月２２日（木）、２９日（木）

（イ）場　所　東吾妻町中央公民館

（ウ）連携先　社会福祉法人東吾妻町社会福祉協議会

（エ）参加者　１９人

【嬬恋会場】

（ア）開催日　令和４年１０月２４日（月）、２５日（火）

（イ）場　所　嬬恋会館

（ウ）連携先　嬬恋村教育委員会

（エ）参加者　１１人

【高崎会場】

（ア）開催日　令和４年１２月１日（木）、１５日（木）

（イ）場　所　高崎市群馬福祉会館

（ウ）連携先　自主事業

（エ）参加者　２０人

エ　アクティブシニアのためのＳＮＳ活用講座

ＳＮＳの仕組みや安全に活用する方法を学び、仲間づくりや地域との繋がりの新たな手法として活用していただくため、開催しました。

【共通事項】

講　師　　株式会社ジーシーシースタッフ

【富岡会場】

（ア）内　容　ショートメール、スマホ決裁、ＬＩＮＥ、スマホのセキュリティ対策

（イ）開催日　令和４年７月４日（月）

（ウ）場　所　富岡市勤労者会館

（エ）連携先　公益社団法人富岡市シルバー人材センター

（オ）参加者　１４人

【桐生会場】

（ア）内　容　ＬＩＮＥ、Ｚｏｏｍ、スマホのセキュリティ対策

（イ）開催日　令和４年７月２５日（月）、２７日（水）、８月１日（月）、３日（水）

（ウ）場　所　美喜仁桐生文化会館

（エ）連携先　桐生市

（オ）参加者　１４人

オ　シニアのｅスポーツ講座

指先を動かすことで認知症予防が期待でき、さらに健康寿命の延伸も期待されると話題の「ｅスポーツ」を実際に体験し、併せて一般社団法人地域社会継続研究所と連携し、ｅスポーツ体験前後の心身への影響について唾液・体温の測定調査も実施しました。

【共通事項】

協　力　一般社団法人地域社会継続研究所　代表理事　中山　友紀

群馬県ｅスポーツ・新コンテンツ創出課

【太田会場（１）】

（ア）開催日　令和４年６月１０日（金）

（イ）場　所　太田市ボランティアセンター

（ウ）連携先　社会福祉法人太田市社会福祉協議会

（エ）参加者　９人

【太田会場（２）】

（ア）開催日　令和４年１２月８日（木）

（イ）場　所　太田市新田勤労会館

（ウ）連携先　公益社団法人太田市シルバー人材センター

（エ）参加者　５人

【吉岡会場（１）】

（ア）開催日　令和４年９月１３日（火）

（イ）場　所　吉岡町地域福祉交流施設

（ウ）連携先　吉岡町

（エ）参加者　１４人

【吉岡会場（２）】
（ア）開催日　令和４年１０月４日（火）
（イ）場　所　吉岡町地域福祉交流施設
（ウ）連携先　吉岡町
（エ）参加者　８人

カ　登録グループの社会参加活動を支援
（ア）内　容
シニアグループの登録・更新　４５団体

キ　軽スポーツ用具等（健康マージャンセット、ｅスポーツゲーム機材、ペタンク、スカイクロス）の無料貸出
（ア）貸出件数
健康マージャンセット　　２件
ｅスポーツゲーム機材　１９件

（３）元気・活躍シニア地域支えあい活動支援事業
シニアの社会参加及び生活支援の担い手となる人材の育成とその活動を支援するため、介護予防推進のボランティア活動等に役立つ実用的な学習の機会を提供しました。
ア　福祉レクリエーション講座
ホスピタリティやアイスブレーキングの理念を取り入れ、手遊びや集団ゲームなどを用いて高齢者の方と良好なコミュニケーションづくりに役立てる方法について学びました。
【前橋会場】
（ア）　開催日　令和４年８月２日（火）、９日（火）
（イ）　場　所　前橋市中央公民館
（ウ）　連携先　前橋市
（エ）　参加者　９１人
（オ）　講　師　高崎健康福祉大学　健康福祉学部特任教授　松沼　記代

イ　若返りリトミック講座
音楽を楽しみながら心身の若返りと認知症予防を目的にしたメソッドを使いながら、「あたま」「こころ」「からだ」の３つの若返りの手法とその効果を習得しました。
【玉村会場】
（ア）　開催日　　令和４年５月１９日（木）
（イ）　場　所　　玉村町文化センター
（ウ）　連携先　　玉村町公民館
（エ）　参加者　　１９人
（オ）　講　師　　国立音楽院認定音楽療法士　濱田　幸子、松島　裕子

ウ　タッピングタッチ講座

両手を使って肩や腰・頭などの部分を、左右交互のリズムでタッチしていくことで、不安、緊張などを和らげ、よりよいコミュニケーションが図れるようになる手法とその効果を習得しました。

【玉村会場】

（ア）　開催日　　令和４年８月３１日（水）
（イ）　場　所　　玉村町文化センター
（ウ）　連携先　　玉村町公民館
（エ）　参加者　　１３人
（オ）　講　師　　タッピングタッチ認定インストラクター　後藤 三佐子

エ　リラクゼーション講座

マスク生活による顔周りの緊張をほぐすマッサージやリフレッシュを目的としたセルフマッサージの手法とその効果を習得しました。

【伊勢崎会場】

（ア）　開催日　　令和４年６月２９日（水）、７月２２日（金）
（イ）　場　所　　伊勢崎市文化会館
（ウ）　連携先　　社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会
（エ）　参加者　　３５人
（オ）　講　師　　学校法人中央総合学園高崎ビューティーモード専門学校教員　關　孝子

（４）シニアのための脳と体の健康づくり講座

誰もが迎える高齢期を健やかに過ごすために必要な知識と技術を身に付け、自らの介護予防・健康づくりに役立てるとともに、日常生活や地域のボランティア活動に役立てていただく講習会を開催しました。

【共通事項】

講　師　ＮＰＯ法人ソーシャルグッド理事　吉田　大祐
　　キユーピー株式会社　前田　淳

【板倉会場】

ア　開催日　　令和４年５月２５日（水）、６月１日（水）
イ　場　所　　板倉町Ｂ＆Ｇ海洋センター、板倉町中央公民館
ウ　連携先　　板倉町
エ　参加者　　２１人

【前橋会場】

ア　開催日　　令和４年１１月２１日（月）、２５日（金）
イ　場　所　　前橋市中央公民館
ウ　連携先　　前橋市
エ　参加者　　６５人（対面：４３人、オンライン：２２人）

３　地域活動促進のための『組織づくり』

（１）全国健康福祉祭選手派遣事業

「神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔～未病改善でスマイル １００ 歳～」をテーマに開催された第３４回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会（ねんりんピックかながわ２０２２）に群馬県選手団を派遣しました。

ア　開催日　　令和４年１１月１２日（土）～１１月１５日（火）

イ　場　所　　神奈川県内

ウ　参加申込者数　１３３人

エ　種　目　　卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、弓道、剣道、オリエンテーリング、ラグビーフットボール、サッカー、ソフトバレーボール、なぎなた、太極拳、軟式野球、ダンススポーツ、スポーツウエルネス吹矢、スポーツチャンバラ（１６種目）

（２）ぐんまねんりんピック２０２２開催

スポーツや文化活動をとおして、シニアの健康の保持増進と交流、生きがいづくりを推進するため、スポーツと文化の祭典を開催しました。

ア　開催日　　令和４年１０月１９日（水）、２０日（木）

イ　場　所　　ＡＬＳＯＫぐんま総合スポーツセンター、しんしん大渡温水プール・トレーニングセンター、前橋市設ゲートボール場、前橋市登利平桃ノ木川グランド

ウ　参加申込者数　１，３２３人

エ　種　目　　ゲートボール、卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、剣道、弓道、グラウンド・ゴルフ、マラソン、水泳、ソフトバレーボール、ペタンク、なぎなた、太極拳、囲碁、将棋、健康マージャン（全１７種目）

４　調査研究

（１）生きがいと健康づくり調査研究事業

高齢者が心身共に健康で、生きがいを持ちながら地域の中で生活していくための諸方策を検討するため、当財団の令和３年度事業の参加者のうち、６０歳以上の方を対象に、高齢者の健康、生活、生きがい活動等を調査しました。

ア　調査地域　群馬県全域

イ　調査対象

６０歳以上で、シニアの社会参加活動推進を目的とした令和３年度事業の参加者９３５人（ときめき美術展２２７人、ときめき俳句大会３４９人、第３２回長寿社会・私のメッセージコンクール６５人、シニア傾聴ボランティア育成支援事業４９人、元気・活躍シニア社会参加活動支援事業１７２人、シニアのための脳と体の健康づくり講座３９人、元気・活躍シニア地域支えあい活動支援事業１６人、Ｚｏｏｍ体験講座１２人、ｅスポーツ体験講座６人）

ウ　調査方法　郵送調査

エ　調査事項

（ア）　基本属性に関する事項

（イ）　日常生活に関する事項

（ウ）　社会参加活動の実態に関する事項

オ　調査期間　令和４年８月１日（月）～９月３０日（金）

カ　有効回答数　４１６人（回収率　４４．５％）Ｗｅｂでの回答１１人含む

キ　実施記録作成

（ア）　作成部数　３５０部

（イ）　配布先　県、市町村、アンケート回答者のうち送付希望者等

5　多様な雇用･就業機会の確保

（1）　シルバー人材センター連合会の運営

県内各地において、シニアのための臨時的かつ短期的な就業、また、その他の軽易な業務の就業機会確保、提供を行っているシルバー人材センターの様々な取組を支援し、より一層の発展、拡充を目指すため各種事業を実施しました。

ア　連合総会の開催

開催日	場所	内　　容
6月15日（水）	群馬会館 ホール	◆議　事 ・　有料職業紹介事業の運営に関する規程の一部改正について ・　有料職業紹介事業に係る個人情報適正管理規程の一部改正について ・　シルバー派遣事業実施規程の一部改正について ・　シルバー派遣事業個人情報適正管理規程の一部改正について ・　令和3年度事業報告について ・　令和3年度収支決算について ・　連合幹事の選任について ・　連合会を代表する財団理事の推薦について

イ　連合幹事会の開催

	開催日	場所	内　　容
第1回	6月15日（水）	群馬会館 第7会議室	◆議　事 ・　連合会表彰の被表彰者の決定について ・　定期総会に付議すべき事項について
第2回	6月15日（水）	群馬会館 第7会議室	◆議　事 ・　会長、副会長の選出について ・　安全適正就業委員会及び就業開拓等委員会委員の選任について
第3回	2月21日（火）	群馬県社会福祉総合センター 203AB会議室	◆議　事 ・　群馬県シルバー人材センター連合会表彰規程の変更について ・　令和5年度事業計画（案）について ・　令和5年度収支予算（案）について

ウ　事務局長会議の開催

	開催日	場所	内　　容
第1回	6月 9日（木）	群馬県社会福祉総合センター ホール	◆議　事 ・　令和4年度定期総会提出議案について

第2回 (臨時)	11月21日（月）	群馬県公社総合ビル東研修室	◆報　告 ・　館林市シルバー人材センターで発生した死亡事故について ・　令和4年度安全・適正就業巡回訪問結果について
第3回	2月15日（水）	群馬県社会福祉総合センター203AB会議室	◆議　事 ・　令和4年度第3回連合幹事会提出議案について

エ　ブロック会議の開催

	開催日	場所	内　　容
中・北毛	1月20日（金）	渋川市勤労福祉センター大会議室	◆第1部（全体会議） ・　会員の事故及び健康管理について ・　インボイス制度と請負・委任事業における契約方法の見直しについて ・　意見交換 ◆第2部（派遣事業実施センター会議） ・　インボイス制度施行後のシルバー派遣センター手数料支払に係る請求書について ・　高齢法39条業務拡大について ・　産業医・衛生委員会について ・　派遣実施センターとの手数料按分比について ・　意見交換
東毛	1月25日（水）	太田商工会議所会館小ホール	
西毛	1月26日（木）	高崎市総合福祉センター会議室4	

オ　普及啓発事業

シルバー人材センター事業の理念・仕組み等を広く県民に周知し、事業への理解と協力を得るための普及啓発活動を行いました。

（ア）　情報誌「ときめき群馬」の作成、配布　年３回（１，０８５部）

（イ）　シルバー人材センターＰＲコーナーの設置

ａ　第５回安全大会

（ａ）　開催日　令和４年１１月２日（水）

（ｂ）　場　所　ベイシア文化ホール　大ホールホワイエ

（ｃ）　内　容　シルバー人材センター会員が作成した手工芸品の販売、シルバー人材センター事業のパネル展示

（ｄ）　協　力　・（公社）高崎市シルバー人材センター

・（公社）館林市シルバー人材センター

b　ぐんまときめきフェスティバル　総合開会式

（a）　開催日　令和５年３月１１日（土）

（b）　場　所　ベイシア文化ホール　大ホールホワイエ

（c）　内　容　シルバー人材センター会員が作成した手工芸品の販売、シルバー人材センター事業のパネル展示

（d）　協　力　・（公社）高崎市シルバー人材センター
・（公社）館林市シルバー人材センター

（ウ）　普及啓発品の作成、配布

a　名入れミニタオル　５，２００枚

b　普及啓発用クリアファイル　２，０００枚

c　名入れウェットティッシュ　２，０００個

（エ）　シルバー人材センター事業ＰＲ広告の掲載

a	Deli-J（デリジェイ）　８月号	掲載日　令和４年７月２５日
b	Deli-J（デリジェイ）　１１月号	掲載日　令和４年１０月２５日
c	みーつけた　１１月１２月合併号	掲載日　令和４年１１月３０日
d	Deli-J（デリジェイ）　１２月号	掲載日　令和５年１月２５日

（オ）　シルバー人材センター事業チラシ等の作成、配布

a　シルバー人材センター事業普及啓発用パンフレット　Ａ３二つ折り（フルカラー）
５，０００部

b　シルバー人材センター事業会員募集チラシ　Ａ４両面印刷（フルカラー）
５，０００部

（カ）　ライフビューティー講座

シルバー人材センター事業の理念・仕組み等を広く県民に周知するための普及啓発事業を推進するとともに、女性会員の拡大を図ることを目的にスキンケア体験等を実施しました。

【共通事項】

講　師　群馬ヤクルト販売（株）社員

【沼田会場】

・開催日　令和４年９月２７日（火）
・場　所　公益社団法人沼田市シルバー人材センター内会議室
・連携先　公益社団法人沼田市シルバー人材センター
・参加者　９人

【富岡会場】

・開催日　令和４年９月２８日（水）

・場　所　富岡市勤労者会館

・連携先　公益社団法人富岡市シルバー人材センター

・参加者　１０人

（キ）　２４時間健康電話相談の実施

会員の心身の健康維持と退会抑止及び新規会員獲得を目的として、医師、保健師、看護師等の専門相談員による２４時間の心と体の健康電話相談窓口を設置しました。

カ　安全・適正就業推進事業

シルバー人材センター事業の実施にあたって、安全就業対策の徹底を図るとともに、各シルバー人材センターの安全・適正就業意識の高揚を推進しました。

（ア）　安全･適正就業委員会の開催

	開催日	場所	内　　容
第1回	6月22日（水）	群馬県社会福祉総合センター B01会議室	◆報告 ・　令和3年度下期事故報告について ・　令和4年度安全・適正就業推進事業実施計画について ◆議事 ・　令和4年度安全・適正就業委員長、副委員長の選出について ・　令和4年度安全・適正就業優良センター候補について ◆その他 ・　第5回安全大会について ・　自動車を利用するシルバー派遣業務について
第2回	10月12日（水）	群馬県社会福祉総合センター 203AB会議室	◆報告 ・　令和3年度事故報告について ・　令和4年度安全・適正就業巡回訪問結果(要旨)について ◆その他 ・　第5回安全大会に係る事項について
第3回(臨時)	11月17日（木）	群馬県社会福祉総合センター 701会議室	◆議事 ・　館林市シルバー人材センターで発生した死亡事故について ◆その他 ・　令和4年度第2回（臨時）事務局長会議の開催について

第4回	2月 8日（水）	群馬県社会福祉総合センター203AB会議室	◆報告 ・　令和4年度 上期事故報告について ・　令和4年度 安全・適正就業推進事業進捗経過について ◆議事 ・　令和5年度安全・適正就業推進事業計画について ・　「シルバー人材センター安全就業スローガン」選定について ・　「群馬県シルバー人材センター連合会　安全・適正就業優良センター表彰基準」について

（イ）　第５回安全大会

県内シルバー人材センター会員等の就業事故撲滅のため、安全就業の確保、安全意識の高揚及び啓発を目的に、各シルバー人材センターの役職員・会員が一同に会して、第１部では安全・適正就業優良センター表彰と「群馬県シルバー人材センターの安全活動」についての報告、第２部では記念講演を聴講し、安全・適正就業の重要性について再認識を図りました。

a　開催日　令和４年１１月２日（水）

b　場　所　ベイシア文化ホール　大ホール

c　内　容

（a）第１部　表彰、安全活動報告

（b）第２部　記念講演　「よろこびを力に・・・」

講師　元マラソン選手　有森　裕子

d　参加者　２３２人

（ウ）　安全就業優良シルバー人材センター表彰及び安全就業スローガンの決定

シルバー人材センターの事故抑制につなげるため、日頃から安全活動に意欲的に取り組み、優れた成果を収め、基準となる労働災害率（度数率及び強度率）及び損害事故率を過去３年間達成しているシルバー人材センターを表彰しました。

a　安全就業優良シルバー人材センター

・（公社）伊勢崎市シルバー人材センター
・（公社）沼田市シルバー人材センター
・（公社）安中市シルバー人材センター
・下仁田町シルバー人材センター
・高山村シルバー人材センター
・玉村町シルバー人材センター

b　安全就業優秀スローガン
応募作品総数　７２作品
【優秀作品】
第１位　健康で　働く喜び　笑顔の帰宅（甘楽町ＳＣ会員）
第２位　事故無しは　安全意識の　積み重ね（桐生市ＳＣ会員）
第３位　注意聞く　素直な心に　事故はナシ（高崎市ＳＣ会員）

（エ）　安全・適正就業巡回訪問指導の実施（３１センター＋支所・連絡所）

実施日	訪問センター	備考
6月30日（木）	前橋市シルバー人材センター	2箇所
	前橋市シルバー人材センター（大胡支所）	1箇所
	前橋市シルバー人材センター（富士見支所）	1箇所
7月 4日（月）	吉岡町シルバー人材センター	2箇所＋事故現場
7月 6日（水）	沼田市シルバー人材センター	1箇所
	沼田市シルバー人材センター（白沢連絡所）	1箇所
7月 7日（木）	中之条町シルバー人材センター	2箇所
7月11日（月）	高山村シルバー人材センター	2箇所
7月13日（水）	みなかみ町シルバー人材センター	1箇所
7月14日（木）	渋川市シルバー人材センター	3箇所＋事故現場
7月20日（水）	伊勢崎市シルバー人材センター	2箇所
	伊勢崎市シルバー人材センター（赤堀支所）	1箇所
	伊勢崎市シルバー人材センター（あずま支所）	1箇所
7月21日（木）	長野原町シルバー人材センター	2箇所
7月25日（月）	嬬恋村シルバー人材センター	2箇所
7月27日（水）	東吾妻町シルバー人材センター	1箇所
7月28日（木）	昭和村シルバー人材センター	1箇所
8月 1日（月）	玉村町シルバー人材センター	1箇所
8月 3日（水）	藤岡市シルバー人材センター	2箇所
8月 4日（木）	片品村シルバー人材センター	2箇所
8月 8日（月）	富岡市シルバー人材センター	2箇所
8月10日（水）	安中市シルバー人材センター	1箇所
	安中市シルバー人材センター（松井田支所）	1箇所
8月24日（水）	甘楽町シルバー人材センター	2箇所
8月25日（木）	南牧村シルバー人材センター	2箇所
8月29日（月）	高崎市シルバー人材センター	2箇所
	高崎市シルバー人材センター（吉井連絡所）	1箇所

8月30日（火）	高崎市シルバー人材センター（榛名倉渕連絡所）	1箇所
	高崎市シルバー人材センター（箕郷群馬連絡所）	1箇所
9月 1日（木）	下仁田町シルバー人材センター	2箇所
9月 5日（月）	太田市シルバー人材センター	2箇所
	太田市シルバー人材センター（新田支所）	1箇所
9月 7日（水）	みどり市シルバー人材センター（東支所）	1箇所
9月12日（月）	神流町高齢者能力活用センター	2箇所
9月15日（木）	みどり市シルバー人材センター	2箇所
	みどり市シルバー人材センター（笠懸支所）	1箇所
9月22日（木）	千代田町シルバー人材センター	2箇所
9月26日（月）	明和町シルバー人材センター	2箇所
9月27日（火）	桐生市シルバー人材センター	2箇所
	桐生市シルバー人材センター（新里支所）	2箇所
9月28日（水）	邑楽町高齢者活力センター	2箇所
9月29日（木）	館林市シルバー人材センター	2箇所
10月 3日（月）	板倉町シルバー人材センター	2箇所
10月 5日（水）	大泉町シルバー人材センター	2箇所
10月13日（木）	桐生市シルバー人材センター（黒保根支所）	2箇所

※３１センターを訪問し、作業現場にて指導を行いました。
また、事故発生センターでは、当該センター担当者と事故発生同一作業について再発防止策がなされているか検証し再発防止を図りました。

（オ）事故防止啓蒙活動の継続（「安全だるま」の設置）

傷害事故（１ヶ月以上入院の傷害事故が対象）発生センターを対象に、一丸となって事故の防止、安全レベルの向上に取り組むことを目的として、「安全だるま」を設置しました（対象：５センター）。

（カ） 蜂刺され重篤事故に対する再発防止対策の継続推進

a 蜂毒アレルギー検診の推奨

県内で発生した傷害事故のうち最も多い原因が蜂刺されであり、いまだ潜在的な不安全要素が残っていることから、蜂毒アレルギー検査の受診を推奨しました。

令和４年度受診状況：６センター（４４人受診）

（キ）　安全・適正就業研修会への職員派遣

シルバー人材センターからの依頼により職員を派遣し、会員に対しての安全・適正就業教育を行い安全意識の向上と危険事故防止に努めるよう指導しました。

開催センター	開催日	場所
嬬恋村シルバー人材センター	6月24日（金）	大前活性化センター
中之条町シルバー人材センター	7月19日（火）	中之条町役場
（公社）富岡市シルバー人材センター	8月19日（金）	富岡市勤労者会館
（公社）館林市シルバー人材センター	8月31日（水）	館林市老人福祉センター
（公社）吉岡町シルバー人材センター	12月 1日（木）	吉岡町老人福祉センター
（一社）板倉町シルバー人材センター	1月 6日（金）	板倉町シルバー人材センター
（公社）太田市シルバー人材センター	3月15日（水）	宝泉行政センター

（ク）　安全・適正就業支援事業

シルバー人材センターの安全管理体制の整備及び会員の安全意識の高揚を図ることによる事故防止を目的として、シルバー人材センターが実施する安全・適正就業に関する講習会の経費の一部を支援事業費として交付しました。

・　（公社）藤岡市シルバー人材センター

講習会名　樹木の剪定講習会～安全に転落しないように剪定するためには～

キ　就業開拓等事業

シルバー人材センター会員の経験、知識、技術、技能を活かせる仕事を確保するため、就業開拓活動を展開するとともに、地域で活躍したいという意欲と能力のある高齢者に対し、地域の支え手として活躍できるセンターへの入会を促進しました。

（ア）　就業開拓等委員会の開催

	開催日	場所	内　　容
第1回	6月22日（水）	群馬県社会福祉総合センターB01会議室	◆報告 ・　令和3年度就業開拓等実施結果について ・　令和4年度就業開拓等実施計画について ◆議事 ・　就業開拓等委員会委員長・副委員長について
第2回	2月 9日（木）	群馬県社会福祉総合センターB01会議室	◆報告 ・　令和4年度就業開拓等実施経過報告について ◆議事 ・　令和5年度就業開拓等実施計画（案）について ◆その他 ・　会員拡大について意見交換

（イ）　就業開拓等巡回訪問指導（８センター）

実施日	センター名
12月12日（月）	片品村シルバー人材センター
12月15日（木）	（公社）桐生市シルバー人材センター
12月16日（金）	（公社）太田市シルバー人材センター
12月21日（水）	玉村町シルバー人材センター
12月22日（木）	（一社）甘楽町シルバー人材センター
1月10日（火）	（一社）板倉町シルバー人材センター
1月12日（木）	（公社）沼田市シルバー人材センター
1月13日（金）	昭和村シルバー人材センター

※巡回訪問指導は、法人センターが３年に１度、非法人センターが４年に１度の頻度で訪問により実施することを原則とし、内容は「シルバー人材センター事業に係る調査票」及び「指導マニュアル」に基づき実施することとなっています。

ク　交流研修事業

シルバー人材センター事業の円滑な運営及びセンター役職員の資質の向上、活性化を図るため、諸研修を実施しました。また、センターが会員を対象に実施する講習会に対し、経費の一部を支援事業費として交付しました。

（ア）　役職員研修会

a　開催日　令和４年１０月１１日（火）

b　場　所　群馬県社会福祉総合センター　大ホール

c　内　容　「適格請求書等保存方式（インボイス制度）への対応について」

d　参加者　４４人

（イ）　小規模センター意見交換会

a　開催日　令和５年１月２３日（月）

b　場　所　群馬県社会福祉総合センター　２０３ＡＢ会議室

c　内　容　検討テーマを基に実務担当者の意見交換

d　参加者　９人

（ウ）　技能講習会支援事業

会員の技術、技能等の向上を図り、就業機会の拡大に資するため、シルバー人材センターが技能講習会を実施する場合に、その講習会の経費の一部を支援事業費として交付しました。

a　（公社）高崎市シルバー人材センター

講習名　接遇講習会

b　（公社）太田市シルバー人材センター

講習名　接遇講習会

c　（公社）藤岡市シルバー人材センター

講習名　接遇講習会

ケ　指導相談事業

シルバー人材センター事業の適切な運営を図るため、（公社）全国シルバー人材センター事業協会と連携してセンターに対し指導を実施するとともに、各シルバー人材センターからの業務運営、会計処理等に関する問い合わせ、相談等に随時対応しました。

（ア）　シルバー人材センター事業定期指導

組織・事業運営、会計処理等について、シルバー人材センターを訪問し、個別指導相談を就業開拓等巡回訪問指導と併せて実施しました。

実施日	センター名
12月12日（月）	片品村シルバー人材センター
12月15日（木）	（公社）桐生市シルバー人材センター
12月16日（金）	（公社）太田市シルバー人材センター
12月21日（水）	玉村町シルバー人材センター
12月22日（木）	（一社）甘楽町シルバー人材センター
1月10日（火）	（一社）板倉町シルバー人材センター
1月12日（木）	（公社）沼田市シルバー人材センター
1月13日（金）	昭和村シルバー人材センター

※定期指導は、法人センターが３年に１度、非法人センターが４年に１度の頻度で訪問により実施することを原則とし、内容は「シルバー人材センター事業に係る調査票」及び「指導マニュアル」に基づき実施することとなっています。

（イ）　顧問弁護士による法律相談の実施

センター業務が多様化してきている中で、センターを取り巻く法律問題にも適切に対応すべく顧問弁護士を設置し、法律相談を実施しました。

コ　調査研究事業

当財団の生きがい健康グループと共同で、「生きがい健康づくり事業」に参加した６０歳以上の方にシルバー人材センターに関する調査を実施しました。

（ア）　調査地域　　群馬県全域

（イ）　調査対象　　６０歳以上でシニアの社会参加活動推進を目的とした令和３年度事業参加者のうち、９３５人

（ウ）　調査方法　　郵送調査

（エ）　調査事項　　ａ　シルバー人材センターを知ったきっかけ

ｂ　シルバー人材センターに入会していない理由

（オ）　調査期間　　令和４年８月１日（月）～９月３０日（金）

（カ）　有効回答数　４１６人／９３５人（回収率４４．５％）Ｗｅｂでの回答１１人含む

サ　シルバー派遣事業運営

高齢者の就業機会の拡大につなげるため、請負や委任による働き方では対応できなかった作業など多様な働き方が可能となる労働者派遣事業を実施するにあたり、シルバー派遣事業について円滑な事業実施のための会議、派遣事業に従事する職員を対象とした研修を実施しました。また、各シルバー人材センターからのシルバー派遣事業に係る問い合わせ､相談等に随時対応しました。

（ア）　シルバー派遣事業担当者研修会

ａ　開催日　令和４年９月２１日（水）

ｂ　場　所　群馬県社会福祉総合センター　２０３ＡＢ会議室

ｃ　内　容　「派遣・請負を適正に行うための基準及び実例」について

「全国のセンターから寄せられた全シ協への相談内容」

「今回の研修会に寄せられた各センターからの事前質問」

「最新の派遣業界を取り巻く事情や傾向」について

講師　株式会社コンサルティングミッション

代表取締役　秋山　次郎　氏

ｄ　参加者　２１人

（イ）　シルバー派遣事業推進検討会議

	開催日	場所	内　　容
第1回	12月 5日（月）	群馬県社会福祉総合センター203B会議室	◆説明 ・　「産業医」の設置について ・　「衛生委員会」の開催について
第2回	3月28日（火）	群馬県社会福祉総合センター202会議室	

シ　職業紹介事業

臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る就業で、雇用を希望する高齢者の多様なニーズに応えるため職業紹介事業を実施しましたが実績はありませんでした。

ス　関東ブロックシルバー人材センター連絡協議会の運営

関東ブロック内構成団体の健全な発展を期するため連絡を密にし、相互の研鑽に努めるとともに、シルバー人材センター事業の制度的充実を図ることを目的に各種事業を実施しました。

（ア）　会議の開催

a　理事会〔書面開催〕

b　期　日　令和４年５月１６日（月）

c　内　容

・　令和３年度事業報告について
・　令和３年度収支決算について
・　関東ブロックシルバー人材センター連絡協議会役員改選（案）について
・　全国シルバー人材センター事業協会第２１期役員の候補者推薦（案）について
・　令和４年度事業計画（案）について
・　令和４年度収支予算（案）について

（イ）　会長(理事長)会議及び第１回事務局長会議

a　期　日　令和４年１２月１３日（火）

b　場　所　群馬県社会福祉総合センター　２０３会議室

c　出席者　２４人

d　内　容　検討テーマに係る情報及び意見交換

・　インボイス制度への対応状況について（茨城県・埼玉県）
・　会員拡大について（茨城県・栃木県・東京都・神奈川県）
・　植木剪定・除草作業等の算定基準について（山梨県・群馬県）
・　各都県連合の会費規程と団体ごとの金額等について（山梨県）
・　賠償責任事故が及ぼす組織への影響とその対策について（東京都）
・　各センターへの連合会からの支援について（栃木県）
・　独自事業について（千葉県）

（ウ）　第２回事務局長会議

ａ　期　日　令和５年３月７日（火）

ｂ　場　所　群馬県社会福祉総合センター　Ｂ０１会議室

ｃ　出席者　１７人

ｄ　内　容

・　令和５年度事業計画（案）について
・　令和５年度収支予算（案）について
・　関東ブロックシルバー人材センター連絡協議会役員改選（案）について
・　全国シルバー人材センター事業協会第２２期役員候補者（案）について
・　令和５年度第１回理事会開催について

ｅ　意見交換

・　職員体制の脆弱なセンターへの支援・協力について（茨城県）
・　派遣事業における手数料率について（栃木県）
・　派遣システム（コラボ８０）に係る要望について（群馬県）
・　インボイス制度導入へ向けての準備について（埼玉県）
・　安全就業対策について（千葉県）
・　適正就業への取組みについて（千葉県）
・　インボイス及び契約方法の見直しについて（東京都）
・　連合が主催している会議等について（東京都）
・　特定弁護士等との顧問契約について（神奈川県）
・　シルバー人材センターにおける各種ポイント制度について（神奈川県）

（エ）　役職員研修会

ａ　役職員研修会（群馬県シルバー人材センター連合会共催）

（ａ）　期　日　令和５年２月１６日（木）

（ｂ）　場　所　群馬県社会福祉総合センター　大ホール

（ｃ）　出席者　９０人

（ｄ）　内　容

・　講演　「人生１００年時代のシルバー人材センター事業
～会員拡大、安全就業、ＳＤＧｓの実践～」
講師　公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会
専務理事　姉崎　猛　氏

・　講演　「働く高齢者の体の変化～加齢による身体機能の変化と対応～」
講師　中央労働災害防止協会　健康快適推進部　研修支援課　課長補佐
ヘルスケア・トレーナー　心理相談員　山口　英郎　氏

（オ）　新型コロナウイルス感染症対策支援事業

シルバー人材センター事業の円滑な推進を図るために、都県シルバー人材センター連合（以下「都県連合」という。）における新型コロナウイルスの感染拡大を防止するための取り組みやウィズコロナ、ポストコロナを見据えた取り組みを支援することを目的として、各都県連合からの申請にもとづき、都県連合に対して取り組みに要する物品の提供を行いました。

（２）高齢者活躍人材確保育成事業

ア　技能講習会

高齢者がシルバー人材センターに興味を持ち自信を持って就業できるよう、高齢者の関心の高い分野、高齢者の入会に繋がることが期待できる分野、さらには技能講習の修了後、速やかに就業機会が得られる分野において技能講習を実施しました。

講習種目	期　　間	場　　所	受講者	開催地シルバー人材センター
庭木剪定講習	6月　7日（火） 8日（水）	いせさき市民のもり公園	16人	（公社）伊勢崎市シルバー人材センター
	6月 16日（木） 17日（金）	群馬県緑化センター	12人	邑楽町高齢者活力センター
	7月 19日（火） 20日（水）	みやぎふれあいの郷	16人	（公社）前橋市シルバー人材センター
	7月 25日（月） 26日（火）	甘楽町シルバー人材センター	24人	（一社）甘楽町シルバー人材センター
	7月 27日（水） 28日（木）	太田市新田福祉総合センター	15人	（公社）太田市シルバー人材センター
	8月 18日（木） 19日（金）	渋川市子持福祉会館	16人	（公社）渋川市シルバー人材センター
	9月　6日（火） 7日（水）	群馬県緑化センター	10人	（一社）板倉町シルバー人材センター
	9月　8日（木） 9日（金）	沼田市総合運動公園	16人	（公社）沼田市シルバー人材センター
	9月 27日（火） 28日（水）	みどり市多世代交流館	10人	（公社）みどり市シルバー人材センター
	10月　3日（月） 4日（火）	吉岡町文化センター	19人	（公社）吉岡町シルバー人材センター
	10月 26日（水） 27日（木）	桐生市立中央公民館	17人	（公社）桐生市シルバー人材センター
	11月 17日（木） 18日（金）	安中市学習の森	22人	（公社）安中市シルバー人材センター
松剪定・生垣・竹垣講習	10月　6日（木） 7日（金）	甘楽総合公園 甘楽町シルバー人材センター	20人	全県下
	11月　9日（水） 10日（木）	前橋市嶺公園 群馬県花と緑の学習館	20人	全県下
スーパー等業務スタッフ講習	6月 21日（火）～ 23日（木）	藤岡市神流公民館	12人	（公社）藤岡市シルバー人材センター
清掃スタッフ講習	7月 11日（月） 13日（水）、14日（木）	高崎市群馬福祉会館	13人	（公社）高崎市シルバー人材センター
介護施設等補助スタッフ講習	9月 13日（火）～ 15日（木）	富岡市ウイングプラザとみおか	5人	（公社）富岡市シルバー人材センター
野菜園芸講習	10月 13日（木） 14日（金）	館林市郷谷公民館	9人	（公社）館林市シルバー人材センター
合計（18講習）			272人	

イ　就業体験（職場見学）

高齢者の関心の高い分野、高齢者の入会に繋がることが期待できる分野において、シルバー人材センター及びセンターへの発注経験のある企業、さらにはシルバー会員の協力を得て就業体験（職場見学）を実施しました。

就業体験名	実施日	対象業種	参加者	協力シルバー人材センター
就業体験（職場見学） 前橋市会場	7月 6日(水)	スーパーマーケット	4人	（公社）前橋市シルバー人材センター
就業体験（職場見学） 高崎市会場	10月19日(水)	公園管理 屋内外清掃作業	5人	（公社）高崎市シルバー人材センター
就業体験（職場見学） 太田市会場	10月18日(火) 10月19日(水)	障子・網戸張替 公共施設管理	6人	（公社）太田市シルバー人材センター
合計（3会場）			15人	

Ⅲ　理事会・評議員会

財団の運営等について協議するため、次のとおり開催しました。

１　理事会

（１）　第３７回理事会

ア　開催日　令和４年６月３日（金）

イ　場　所　群馬県社会福祉総合センター　２階　２０３会議室

ウ　報　告

報告第１号　令和３年度収支予算の補正について

報告第２号　代表理事及び執行理事の第３５回理事会以降の職務執行の状況について

エ　議　事

議案第１号　令和３年度事業報告について

議案第２号　令和３年度収支決算について　（監査報告　監事）

議案第３号　第２５回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について

（２）　第３８回理事会

ア　開催日　令和４年７月１日（金）

イ　場　所　群馬県社会福祉総合センター　５階　当財団事務所内

ウ　方　法　決議の省略（書面審議）

エ　議　事

議案第１号　片野清明理事を代表理事に選任し、理事長とする。

議案第２号　平井敦子理事を執行理事に選任し、常務理事とする。

（３）　第３９回理事会

ア　開催日　令和５年３月１日（水）

イ　場　所　群馬県社会福祉総合センター　３階　２０３会議室

ウ　報　告

報告第１号　代表理事及び執行理事の第３７回理事会以降の職務執行状況について

報告第２号　組織規程の一部改正について

報告第３号　職員退職手当規程の一部改正について

報告第４号　給与規程の一部改正について

報告第５号　就業規程及び準職員就業規程の一部改正について

エ　議　事

議案第１号　給与規程の一部改正について

議案第２号　諸規程の改正等について

議案第３号　令和５年度事業計画（案）について

議案第４号　令和５年度収支予算（案）について

議案第５号　第２６回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について

２　評議員会

（１）　第２５回評議員会

ア　開催日　令和４年６月２４日（金）

イ　場　所　群馬県社会福祉総合センター　地下１階　Ｂ０１会議室

ウ　議　事

議案第１号　理事の任期満了及び辞任に伴う選任について

議案第２号　監事の辞任に伴う選任について

議案第３号　評議員の任期満了及び辞任に伴う選任について

議案第４号　令和３年度事業報告について

議案第５号　令和３年度収支決算について　（監査報告　監事）

（２）　第２６回評議員会

ア　開催日　令和５年３月２４日（金）

イ　場　所　群馬県社会福祉総合センター　地下１階　Ｂ０１会議室

ウ　報　告

報告第１号　令和５年度事業計画について

報告第２号　令和５年度収支予算について

エ　議　事

議案第１号　理事の辞任に伴う選任について

議案第２号　監事の辞任に伴う選任について

議案第３号　評議員の辞任及び任期満了に伴う選任について

事業報告書の附属明細書

令和４年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第３４条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。